

小川町での花火打ち上げについて

ルックアッププロジェクト Look Up Project

～夏の思い出に夜空を見上げよう～

新型コロナウイルス(COVID-19)感染が拡大、東京オリンピックの延期を始め、様々なイベントが中止となり、法人本部がある小川町でも竹飾りコンクールに参加している小川町七夕まつりが中止となりました。感染症の恐怖から日本中で自粛ムードや閉塞感が漂っている事を感じられたのではないかと思います。

法人施設では地域では比較的早期に感染者発症を経験する事となり、未知なる感染症に対策・対応を行い、恐怖や緊張を感じながら職員一同努力しておりました。

そのような状況の中で、日本煙火協会青年部有志の方達が「全国一斉悪疫退散祈願 Cheer up！花火プロジェクト」として楽しいだけでなく空を見上げて前向きになれるように、医療従事者への感謝や悪疫退散を込めて花火の打ち上げがありました。また医療介護の皆さんにと様々な応援プロジェクトが立ち上がり、法人への地域の皆様からも多くのご支援を頂き、職員一同感染症への恐怖の中でも医療介護提供を続ける勇気と元気を頂き、笑顔を取り戻す事が出来ました。

多くのご支援の御礼として小川町七夕祭り開催日当日に花火打ち上げを行い、夜空を見上げて思い出となるよう、地域の皆様や医療介護従事者に笑顔を届けられないかと法人内で

「ルックアッププロジェクト～夏の思い出に夜空を見上げよう～」

と称し花火打ち上げを企画いたしました。その後比企西部医師団、地元有志ニオクの会、神田煙火工業さん、小川町にぎわい創出課など多くの方々に趣旨に賛同頂き、感染拡大を避け、三密を作らない為に打ち上げ時間は短時間、事前告知なしで当日打ち上げとなりました。

小川町七夕まつりに付き物の生憎の雨模様でしたが、音の花火から数分で打ち上げが始まるという花火師さんの粋な演出で、小川町でご自宅から花火や音を鑑賞出来た方が多かったのではないかと思います。

当法人は住み慣れた地域で安心して暮らせるよう医療と福祉を提供し、地域に貢献する事を理念としておりますが、今回地域貢献として花火打ち上げプロジェクトを企画実行いたしました。近隣の皆様には騒音などご迷惑をおかけしたと思いますが、地域の多くの方が笑顔になり、希望を感じて頂けたと信じております。

以上

医療法人 娛生会
理事長 宮崎 通泰